

第3回そだつ部会会議録

日 時	2017年7月12日(水) 13:30~15:30
場 所	地域連携交流施設
テ ー マ	1、参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内 容	<p>1、参加メンバー：11名 夏の予定</p> <p>2、協議課題</p> <p>○かけはしCAFÉについて</p> <p>参加者7名(初参加2名)、支援者4名(事務局2名を除く)</p> <p>支援者もデコレーションを作成した</p> <p><b>意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけはしCAFÉ 年2回開催だと、参加したいタイミングで参加できない</li> <li>・デコレーション 女性は特に楽しい、楽しめる</li> <li>・読む人 見る人からのリアクションが大切 “ない”のは”こども”に関心をもってもらえていないと感じる</li> <li>・参加者の固定</li> <li>・楽しい雰囲気の中書けていた デコレーションで和気あいあい</li> <li>・デコをすることで子どもの成長(1年間)が視覚化されて「よろこび」を感じれるようになっている</li> <li>・よく知っている人で、スーッと入っていけるが。新メンバーが少ない</li> <li>・書いたものを見る、読む人             <ul style="list-style-type: none"> <li>→教育委員会より声掛けしている</li> </ul> </li> <li>・来たことのある人は、実感</li> <li>・子どもの情報が一冊の本になった!</li> <li>・まとめる力が広がっている(人がつながっている。)</li> <li>・子育ての経験が活かされている</li> <li>・支援者として参加しているが、逆に相談にのってもらっている</li> <li>・書く場があるということ自体がよい。交流の場となり、親と名前がわかる知り合いができることも、とても良かった。</li> <li>・皆で集まり、作ったものだから「見せていいんだ! どんどん見せていこう!!」という気持ちになれる</li> <li>・母が「かけはし」を書くことで、自分が子どものことをじっくりとらえる時間が設けられた</li> <li>・母達から、先生・支援者に何度も見せていく!!と決意があった</li> <li>・「デコ」でその子がわかり「かけはし」に書かれているものをつながる。子どもが立体的に見えてくる</li> </ul>

○支援をつなぐ

- ・播磨町の支援はつながっているのではないか
- ・保護者が支援を必要と感じていないため、先生が支援が入った方がいいと思っても、子どもはなかなか支援をつなぐことが難しい
- ・就学前には「たけのこ」「たんぼぼ」クラブがある。「ひまわり」クラブでは、かけはしの紹介もしている。就学についての説明も教育委員会がおこなっている
- ・放課後デイなどの福祉サービスは受けているが、学校へは知らせてほしくないという親の要望もある
- ・啓発にしても、だれにどんな啓発を行う必要があるのか  
→今後、播磨町の現状と課題を考えながら進めていく

3、その他

○はたらく部会

- ・はたらく現場見学会：参加者 33 名
- ・はたらくみんなのお茶会：参加者 34 名

○推進会議・全体研修会

- ・全体研修会：7月26日（水）10：00～12：00 播磨町健康いきいきセンター  
講師：宮田広善 医師(姫路聖マリア病院 重度障害総合支援センター<sup>ルルド</sup>センター長)  
西村恵子校長（東はりま特別支援学校）  
濱口直哉 氏（地域支援センターあいあむ）

※25日15：00～いきいきセンターで会場設営を行います。ご協力ください。

4、次回開催日の調整

平成28年9月20日（水）13：30～15：30 場所：地域連携交流施設